

ボランティア連絡会

SUITA すまいる

第126・127号



吹田市ボランティア連絡会ホームページアドレス
<https://suitashiboraren.jimdo.com/>



編集・発行

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター
 吹田市ボランティア連絡会
 〒564-0072 吹田市出口町19番2号
 市立総合福祉会館内
 電話 (06) 6339-1210

正しい知識で新型コロナと共存!
 自然体で! 輪を広げよう!!



ウィズコロナで考えよう!

会長 井本 英子

今年は、大変な年になりました。2月に入って新型コロナウイルスの感染が拡大し、4月に緊急事態宣言が発出され、6月まで学校はじめ公共施設すべての自粛が続く、社会生活が大きく影響をうけています。

当ボランティア連絡会(以下V連)も、全ての会議が中止となりましたが、総会は書面決議の方法で承認され、事なきを得ました。会員の皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだその後遺症は大きく、吹田フェスタを筆頭に、各行事は年末まで中止となりました。

2月の時点でこんな状況に

— 広めよう、深めよう、ボランティア活動 —
吹田市ボランティア連絡会
令和2年度 総会書面決議

なると思ってもよらなかったのではないだろうか。外出

自粛、緊急事態宣言、クラスター、オーバーシュート、ステイホーム等、今までなじみのなかった漢字やカタカナ、英語にまで取り囲まれ…てんやわんや…。

コロナ、コロナで生活様式も大きく変わり、これからはコロナと共存の時代になるとか、ワクチン・特效薬の開発が急がれます。

そんな中、スーパーコンピュータ「富岳」が計算速度・ビッグデータの解析速度など四つの指標で世界一となる快挙を達成。『目指したのは、社会の為に』とか。新薬の開発、防災・津波などのシミュレーション等に力を発揮してくれそうで、大きく期待が持てますね。

役員紹介

。会長

井本 英子

。副会長

北嶋 玉枝

。書記

中谷 恵子

。会計

村岡 朝子

。会計監査

福島 加代子

。第一部会長

西野 万利子

。第二部会長

沖村 史生

。大平 晃

大城 緑

(敬称略)



一緒に、ボランティア
 連絡会に入会して
 活動してみませんか?
 お待ちしています。

V連各グループの活動も、自粛で思う存分活動できていませんが、お互いが工夫しあい、できる範囲で助け合って活動していきたいと思っています。まだ、V連に入会されていないグループのみなさんへ。

第37回 みんなの健康展

くちよつとした気づきが

大きな健康をく

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年と違う方法で開催されます。

会場ではなくHP、健康すいたの紙面上でお届けします。V連は各々のグループが日頃から取り組んでいる、歌体操・脳トレなど、介護予防活動の一部を紹介します。



手作りコーナー

この写真は
昨年の様子です



点字「上手に書けたね」



おもちゃコーナー



大盛況「オー!!!」

今年の動きのあるWeb健康展にぜひ参加しましょう！

さあ！皆さんも
動画を見ながら
一緒に体を動かし
大いに楽しみましょう！

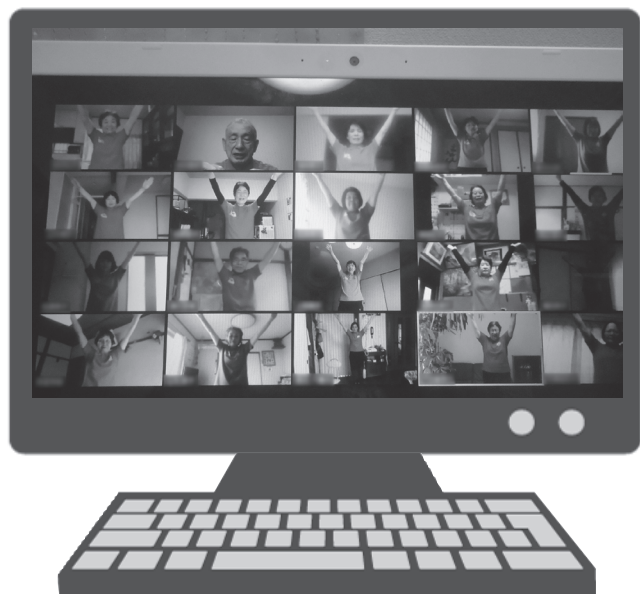
※詳細は市報にて

初めてのオンライン歌体操

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で、活動の全てが3月より休止になりました。

何をしたら良いかと思っていたところ、SA吹田でオンラインで歌体操をすることが決まりました。市民塾・藤井寺・堺・和泉・箕面・茨木・高槻・大阪市と総勢35名の方が登録され、7月末で計48回継続することができました。

最初は、オンラインの活用は若い人たちがするものと思



離れた場所から一緒に！

っていましたが、始めてみると直接会えなくても画面を通してお顔が見れ、お喋りもでき、そして毎日体を動かすことができるので、すっかりはまってしまいました。

7月からは少しずつ活動が始まりつつあります。しかし歌体操の活動は規制が厳しく、思うように出来ない分、オンラインと共用でしていければと思っています。

(歌体操介護予防市民塾

加藤 昌子)

大阪府市町村 ボランティア連絡会

『コロナ禍、

今できることは？』

会長 中谷 恵子

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応として、総会は書面決議になりました。加入団体33市町村ボランティア連絡会(以下市町村V連)より承認をいただき決議しました。

当連絡会では、役員会で日常のボランティア活動に関する課題などを話し合い、講演会・テーマ別研修会を開催しておりますが、3密を避けてオンライン会議(ZOOM)を大阪府社会福祉協議会の協力の下、開催しました。

11月のテーマ別研修会では、オンラインが活用できるように研修会をして、2月の研修交流会で府内の市町村V連で繋がりたいと思います。

4ブロック研修会では、3密を避けてできる内容を各ブロックで思案されています。

SA吹田
おもちゃづくり市民塾

私たちの塾は、平成14年8月吹田市の肝いりで誕生した市民塾制度の1期生として設立しました。その後2年間、市からの助成金をいただきながら活動の基礎を作りあげ、平成16年4月から自立しました。

その後は、月1回の例会で、新しいおもちゃの作り方を勉強し、いろいろなイベントに参加して、子どもたちと一緒に

なっておもちゃ作りを楽しんでいます。

今年は新型コロナウイルスの影響で2月頃からイベントの中止が続き、仕事がなくなつて塾生一同無聊を託っています。早く収束してほしいと願っています。

子どもたちと一緒におもちゃづくりを楽しんでみたいと思われ方は、一度例会に参加してください。毎月第2土曜日の午前10時から正午まで、北千里公民館で開催しております。初心者でも大歓迎です。よろしく願います。

(丹羽 史朗)

音訳グループ「とも」

会員が録音したデジータテープを、リスナーに声の便りとして郵送する活動をしています。一本の録音物がリスナーと会員の絆をつないでいる大切な活動だと思います。

定期刊行物は、新聞コラムと社説、声の雑誌「とも」、医療ルネサンス、NHK俳句吹田視障会会報、吹田市社協だより、V連のこの情報誌等です。

中でも「とも」の宝物は交流会です。年に一回の再会を手をとって喜び合い、「みんなの発言」ミニコンサートなどで楽しく充実した時間を過ごしています。私は、前向きな生き方をされているリスナーさんから元気をもらっています。昨年は77名と盲導犬4頭の参加でした。今年も楽しみにしていました。コロナ禍で苦渋の決断をして中止になりました。刊行物の発行も中止していましたが、6月から発行を再開し喜んでいただいています。

(亀井 順子)

SA吹田福祉部会

シルバーアドバイザー講座を修得したボランティア。心ふれあいSA吹田が2008年に福祉部会を発足し、市青少年指導課へ「福祉教育の必要性」を伝え、北山田小学校から依頼を受け最初の福祉授業となりました。

『高齢者疑似体験』は、体におもいやサポーターをつけて歩行体験。『車イス体験』『アイマスク体験』などの福祉体験授業を吹田市社会福祉協議会の依頼を受け小・中学校で実施協力をしています。

昨年度は『健康セミナー』をSA吹田の会員の長寿を願う3回計画を立てました。

①『長寿社会に向けての体と心の健康』維持しよう。
②『回想法』で人やまちを元気にしよう。

これらの共通点は痛くない範囲で動かすことが残存能力を守る手立てです。

③『健康長寿のフレイル防止』でしたが、コロナウイルス感染予防で中止しました。

(神保 隆之)

ほつと吹田

14年前、5人の大阪のおばちゃん、あまりに介護の現状を知らなさすぎる自分たちに愕然とし、自らも学ぶこと、そして本人、家族、地域住民も介護が必要になった時、慌てず冷静に対処できることが望ましいと思い、目をそらさず気楽に話せる場所をつくりたいと思ったことが動機となり、現在に至っています。

現在、男女22名の会員とご参加頂いた多くの皆様と座談会を通して楽しいひと時を過ごさせて頂いています。

主な活動としては、
①介護の座談会2カ月に1回
②介護施設や生きがい教室等へ回想法でボランティア活動
③ニュースレターの発行

長寿は喜ばしい社会ではありませんが、介護という大きな課題があります。ともに介護について学び、意見交換、情報を共有することにより、希望の持てる高齢化社会を目指しています。コロナ収束後に、お会いできるのを楽しみにしています。

(森山 宣子)

吹田防災会

前年度は自治会等のイベントにおいて、防災工具の使い方、の出前講座と企業会員向けの救命講習会の開催をしました。個人的には、市一斉防災訓練、各自治会の防災訓練に協力参加とスキルアップに努めてきましたが、2月から活動は止まっています。

新型コロナウイルスが見えない中、大きな地震・風水害に対する「新しい生活様式」の対策が必要になります。「不急の外出自粛」の時こそが家庭内の防災対策の見直しの絶好の機会です。今後の災害時の考え方としては、できる限り自宅で避難できる環境作り『自分の命は自分で守る』が基本です。

まず家庭内での安全対策の再確認を行い、3日以上、出来るだけ1週間は自宅で避難可能な備蓄品の備えと避難時に必要な持ち出し袋の点検とコロナ対策装備（マスク、消毒剤等）の追加が重要です。災害は待ったなし、すぐに始めよう。

(浦 博一)

ママGOGO

ママGOGOは『ママが元気になる子どもも元気になり、マチが明るくなる』を理念に2013年創設。頑張っているママたちにリフレッシュや生涯学習ができる子育ての支え合いの場を提供する活動をしてきました。2018年からは、子育てママの「あったらいいな」が形になった子育て情報誌ママパスポートを発行(年4回季刊誌)。

1歳の親子対象「いっしょうちあげ大会」やママのタメになる講座「ママタメスクール」を主催。コロナ禍でママ友ができない!というママの悩みには「オンライン・ママパスヒロバ@すいた」ママのおしゃべり会」でママ同士をつなげ、地域の子育て支援者とママを繋ぐ機会になっています。また公民館やコミュニティセンターでの産後ママ向け講座のコーディネート事業も継続実施中です。

ママGOGOの活動に興味のある方は、一緒に!

(海老谷 千代子)

吹田・曠の会

私たちは図書館が開催する、音訳・対面朗読ボランティア養成講座を修了したメンバーです。活動は、図書館や個人宅での対面朗読、特別養護老人ホームやデイサービス、グループホームで「朗読の会」を開催しています。

対面朗読では利用者の方が読みたい本や新聞、自宅に届いた書類等を読んでいます。

「朗読の会」では百人一首や季節感のある詩を朗読し、利用者の方にも声を出して読んで頂いています。発声練習から始まり、詩の朗読では内容から広げて利用者の方とお話することもあり、会が終る頃には「また来たね」と声を掛けられると、とても嬉しく感じます。

年に一度、グループの交流で食事会を開催、普段個々で活動しているメンバーが一堂に会する楽しいひとときです。今はコロナの為、活動が休止となっていますが、早く皆さんとお会いできる日を待ち望んでいます。(大城 緑)

令和2年豪雨災害 お見舞い

7月の豪雨災害により被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々を支援することを目的に、吹田市ボランティア連絡会として義援金を寄付いたしました。

義援金は、吹田市社会福祉協議会を通して、中央募金会から被災地に届けていただきます。



心をこめて...

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日

イオン株が社会貢献活動の一環として実施しています。店内に専用のボックスを設置して有志に買い物後の黄色いレシートを入れてもらい、そのレシートの1年分の合計額の1%をボランティア団体に還元するという制度です。

V連のボックスは北千里イオンとマックスバリュール江坂店に置いてあります。毎月11日に店頭に立つ呼びかけをしています。今年は残念ながら店頭に立つことはできませんが、当該の店で買い物



助かっています。ありがとう!

編集委員紹介

。SA吹田
おもちゃづくり市民塾
丹羽 史朗

。音訳グループ「とも」
亀井 順子

。SA吹田福祉部会
神保 隆之

。ほっと吹田
森山 宣子

。ママGOGO
海老谷 千代子

。吹田防災会
浦 博一

。吹田・曠の会
大城 緑
(敬称略)



編集会議の様子



作業中



説明を聞いて

コロナウイルスの影響でボランティア活動の多くが中止になっています。V連役員会も久しぶりに開催されましたが何となく静かなものでした。

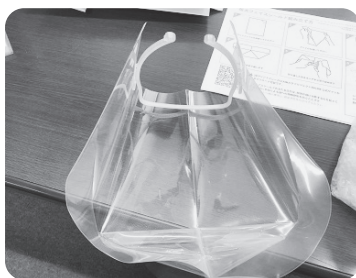
吹田市在住の大学生が、吹田市社会福祉協議会（以下吹社協）に寄付してくださったフェイスシールドの組み立て作業を行いました。

ボラ連 フェイスシールドを作成！

7/3
(金)

作業開始とともにお口が一段と活発になり、明るい賑やかないつもの役員会にもどっていました。ボランティアは活動あつてこそ活き活きできると改めて痛感しました。

作成したフェイスシールドは、吹社協の水田さんから手話サークル「風」さんに活用していただくよう渡されました。



完成!!



完成間近!

外出自粛障がい者見守り支援活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言期間中の見守りや安否確認などを行う新たな事業が大阪府で創設され、早速吹社協が取り組まれました。

私たちも手分けしてユーザーさんに電話訪問。「在宅ワークになった」「休校で三食要るから大変や!」「点字の本を早く送って!」「買い物に行かれへん」「体が鈍って困ってる」「店舗の営業時間が短縮されてる、情報が入らないから閉まって用が足せなかった」などなど。川柳をたくさん送ってくださったり、逆にユーザーさんからいただく情報も多かったです。

外出自粛中は、点訳依頼がいつもの数倍増えて嬉しい限りです。

今回の見守り事業に参加して、よりユーザーさんと密接になれたので、今後の活動に活かしたいと思います。

(点訳の会「円」

北嶋 玉枝)

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ為の自粛要請が出て、私たちボランティアも活動が全く出来ず、とても不安になりました。図書館で月2回の定例会は3か月休みにになり、自宅での作業に変わりました。

そんな時、吹社協より視覚障がい者への安否確認、見守り支援の要請協力があり、早速電話をしました。最初はとても不安そうな声でしたが、話しているうちに明るくなり大変喜んでいただけました。それから必ず週1回は電話で何か不自由な事、困っている事を聞いて、少しでも心が和めばと思いました。

早く皆さんと電話でなく顔を合わせて話せる日を楽しみにしています。

コロナ感染防止策として、マスク着用・手洗い・うがい・消毒・人との距離を取ることを心がけ、1日でも早くこの状況が収束することを祈っています。

(セラピー点訳の会

西野 万利子)

皆さんお元気ですか。コロナウイルス感染防止の為、4か月余り活動を自粛し、個々に自宅で作業をしました。

そんな中、吹社協から協力依頼があり、私たちも協力させて頂くことになりました。

私たちは、点訳ボランティア活動を通じて、お付き合いのある障がい者の方を訪ねるのではなく、電話をおかけしたり、メールで近況をお尋ねしました。ある方は「電話会議」を利用して、友人たちと楽しいひと時を過ごしたとお話されていました。私は電話の向こうで弾む声が聞こえて嬉しい気持ちになりました。

今はコロナが収束して、また以前のように障がい者の方々とメンバーが交流できる日が早く来ることを願っています。

(点訳グループ「あい」

滝川 ちどり)



お知らせ

◇コミュニティサロン再開しています

2月からお休みしておりましたコミュニティサロンですが、7月より一部再開しています。このサロンは、どんなボランティア活動をしたらいいのだろう…など、初めて活動される方でも気軽にできるボランティア活動として、ボランティア相談員と共に開催しています。

【活動内容】使用済み切手の整理やプルトップの選別など

【活動場所】総合福祉会館 ボランティア室

毎月第2・4火曜日 13時～15時

・夢つながり未来館 2階 会議室

毎月第1木曜日 14時～16時

◇赤い羽根共同募金運動 10月1日から全国一斉開始

「自分の町を良くするしくみ」をテーマに、福祉施設や地域福祉活動を行う団体・ボランティア団体などに役立てられる募金として、今年も始まります(12月25日まで)。

V連絡会も、10月2日(金)江坂駅周辺、10月15日(木)JR吹田駅周辺で街頭募金活動を行います。

◎お問い合わせ

吹田地区募金会(吹田市社会福祉協議会内)

TEL 6339-1254/1205

◇第8回 歌体操ボランティア養成講座

内 容: 歌体操を通して楽しい時間を共有するボランティア活動(5回講座)

日 時: 10月6日・13日・20日・27日、11月10日

いずれも火曜日 13時30分～15時30分

場 所: 吹田市立総合福祉会館(出口町19-2)

受 付: 9月1日(火)～

定 員: 先着20人 参加費: 無料

◎お問い合わせ・申し込み

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター

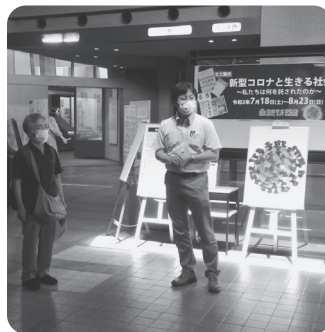
TEL 6339-1210/1254 FAX 6339-1202(土・日除く)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になる場合もございますので、事前にお問い合わせください。

吹田市立博物館にて 「新型コロナと生きる社会」の 展示を見に行きました

まず手の消毒、検温をして案内に入ります。学芸員さんから、100年後に歴史的事実として、あらゆる資料を集め、私たちがどう対処したかを残す文献となる様にと。この様な取り組みをしているのは、日本でも吹田市立博物館と北海道浦幌町立博物館だけと聞き、誇らしく思いました。

全世界に広がる「新型コロナ



五月女学芸員の説明

ナ」の一日も早い終息が待たれます。それまで一人一人が規律を守って暮らしましょう。

7/18(土)～8/23(日)



食い入るように



質問も多く

ZOOM体験講座

7/31(金)

講師は佐竹台地域のホームページを管理されている池上透先生です。参加者11名でZOOM体験をしました。

通常は一つの場所に集まり実施する必要があるミーティングがオンライン上で可能になることから、新型コロナウイルス禍で集まりが制限される状況の中では特に重要なツールです。ほとんどの人が持っているパソコンやスマホを介してWEB会議ができ、40分以内なら無料というのも嬉しいことです。早速実施してみようという頼もしい参加者もいて、貴重な体験となりました。



ワクワク、ドキドキ

さっそく使います!?

ボランティア相談

ボランティア活動をはじめたい方、
ボランティア依頼を希望する方、
電話で、気軽にご相談ください。

吹田市ボランティアセンター

06-6339-1210 月～金、1時～4時

(吹田市立総合福祉会館2階)



編集後記

約30年前、定年まで20年もあり、定年までの気の遠くなる時間に憂慮していましたが、あつと言う間に20数年が過ぎ、気がつけばボランティアの世界にどっぷり。

もがけばもがくほど深みにはまり、抜け出せない底なしの世界ですが、もがくほど、人の役に立つ世界であることがわかり、もう少しだけでもくのも悪くない。

(吹田防災会

浦博一)